

6月比に中高一貫校 光星学院(八戸)など4者協定



協定書を手にする(左から)ガーリー・アレナス代表、カリート・アレナス理事長、法官新一理事長、大谷真樹学長=19日、八戸学院大

八戸市の学校法人光星学院(法官新一理事長)やフィリピンのカールテル科
学教育財団(カリート・アレナス理事
長)などは19日、教育の質向上などに
向けた連携協定を締結した。6月にフ
ィリピンに中高一貫校・カールテル八
戸学院高を開設し、日本語を学ぶカリキ
ュラムを導入することなどを盛り込ん
でいる。(福田駿)

協定を結んだのは、両者
のほか、「八戸学院グル
ープ」(社長・大谷真樹八
戸学院大学長)と、フィリ
ピンの語学学校「CNEI」
(ガーリー・アレナス代
表)の計4者。光星学院に
よると、日本の学校法人が
学校開設などに関して海外
の教育機関と協定を結ぶの
は珍しいという。
同日、八戸学院大で開か
れた調印式には、それぞれ
の代表者が出席。一貫校開
設に加え、日本での就労を
望むフィリピンの学生に対
し、日本語トレーニングを

実施することなどでも合意
した。契約は1年ごとに更
新される。
記者会見で、法官理事長
は「協定締結によって八
戸学院大の国際化は大きく発
展する。今後の地域活性化
にも貢献できる」と意義を

強調。アレナス理事長は
「フィリピン側にとって大
きなメリットになるだけ
でなく、日本の可能性も広
がるだろう」と述べ、両国
の教育の発展に寄与する
協定だ—との考えを示し
た。